学校教育アンケートの結果

「令和6年度本校教育に関するアンケート」にご協力いただきありがとうございました。保護者の皆様から寄せいただいた貴重なご意見の結果をまとめてお知らせします。

これからも、児童たちのために、よりよい学校づくりを目指して全職員で精一杯取り組んでまいりますので、今後とも、本校の教育活動へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

【アンケート結果の見方】

表内のポイントは、「そう思う」を4点、「やや思う」を3点、「あまり思わない」を2点、「まったく思わない」を1点として計算し、得点化したものです。

	評価項目	児童 平均	保護者 平均	教職員 平均	「そう思う」と 「ややそう思う」 の割合	
					児童	保護者
1	学校は、児童が目標を自分で決めたり、自分で考えたりしながら学ぶことができるように授業を工夫している。 (学校教育目標・学校努力点)	3.5	3.4	3.6	94.7%	97.1%
2	学校は、児童が自分も周りの人も大切にすることができるよう、指導にあたっている。 (学校教育目標)	3.5	3.4	3.7	94.7%	97.1%
3	学校は、体育科の学習や運動会などの行事を通して、児童が進んで運動に取り組み、体力を増進させることができるよう指導にあたっている。 (学校教育目標)	3.5	3.4	3.5	88.3%	94.2%
4	学校は、ホームページや学校だより、学年だより、保健だよりなどを通して、学校の様子を分かりやすく伝えている。 (たよりやHP)		3.5	3.8		96.1%
5	学校は、児童のトラブルや悩みなどに適切に対応し、いじめのない学校づくりに努めている。 (いじめ防止基本方針)	3.6	3.4	3.9	95.4%	94.2%
6	学校は、安全面について配慮をし、けがや事故のない学校づくりに努めている。 (生活指導・保健指導)	3.6	3.5	3.7	97.2%	96.1%
7	学校は、児童のことについて相談に応じるなど、家庭や地域ときめ細かく連絡をとっている。 (家庭や地域との連携)		3.3	3.7		93.3%

【次年度の取組について】

○ 学校教育目標について

本校の学校教育目標である、「人間性豊かな志東っ子の育成」の実現を目指して、次年度も、引き続き学校行事や生活科・総合的な学習の時間や中心に、児童一人一人が自らの目標をもち、主体的に学ぶことができるよう、実践を進めていきたいと考えています。

○ 情報発信について

大きな特徴として、教職員の結果と比べて、総じてポイントが低くなっている点があげられます。教職員が手応えを感じている指導が、保護者の方々に伝わりきっていないということが原因として考えられます。

本校の取組を、学校便りやホームページ等で発信し続けていくことが大切だと考えます。

○ 教育相談体制について

児童や保護者の方々の困りごとに寄り添い、共に悩みを解消していけるよう努めてまいりたいと考えます。

【いただいたご意見より】

○ 子どもが給食のエフロンの洗剤の匂いを苦手としているため、エフロンの個人持ちを検討してほしい

希望するお子さんが個人持ちを選択できるようにしていきたいと考えています。詳細は、4月にご案内する予定です。

○ 校外学習が減ったことに、さみしさを感じる

学校教育目標の実現を目指して、それまで行っていた校外学習や出前授業の一部を、在り方を見直し、探究学習と紐付けて行うことにしました。これにより、学校努力点の実践や他教科の学習により高い効果をもたらしたと捉えています。今後も、さらに児童が自分なりの問い、自分なりの答えをもつことができるように計画を進めていきたいと考えています。

○ ドッジボール大会のようなこれまで行っていた行事を行ってほしい

今年度より、名古屋市全体で「ナゴヤ学びのコンパス」に基づく児童主体の実践が始まりました。本校でも、各委員会の活動の中で、「学校をよりよくするために何ができるかな」と問い掛けることから始め、昨年度まで教師が主体となっていた行事を児童主体に形を変えて実施しました。児童が主体となって取り組んだことで、企画する児童、参加する児童ともに、これまで以上に学びのある機会となりました。今後も、より一層児童の思いを大切に企画・運営を行っていきたいと考えています。